

# 尾道文化

第二十一号 くもくじ

## 巻頭言

§華道・写真・書

## §文化交流

「今治と尾道」を結ぶ文学交流

小説『女紋』と猿飛佐助

第三回文学ルート川柳

第六回しまなみ海道俳句大会

第一回高校生絵のまち尾道四季展について

感想文

尾道市文化協会会長

入船 裕二 …… 6

吉村 信男 …… 13

三藤 正行 …… 24

入船 裕二 …… 27

清水 金二 …… 32

小西 眸 …… 37

藤井 壯次 …… 39

清水 英子 …… 47

財間 八郎 …… 53

栗本 秋夫 …… 58

今井ひでを …… 60

吉田 繁 …… 65

信来 民夫 …… 71

青木 博 …… 74

池田 明子 …… 79

中村 英子 …… 81

小山 歩 …… 87

浦崎短歌会 …… 91

波動・うずしお短歌会 …… 96

世紀短歌会 …… 105

仲尾 修 …… 115

しまなみ俳句会 …… 116

久井 茂 雉 …… 139

吉野 太郎 …… 140

花本 圭司 …… 142

仲尾 修 …… 144

高垣 憲正 …… 148

木村大刀子 …… 150

山口美沙子 …… 152

入船 裕二 …… 154

島 匠介 …… 157

幡地谷 領 …… 158

黒田 歩兵 …… 164

矢嶋 伊作 …… 169

…… 176

…… 181

…… 187

…… 192

…… 86

…… 52

## 尾道文化

第二十一号 くもくじ

## 巻頭言

§華道・写真・書

## §文化交流

「今治と尾道」を結ぶ文学交流

小説『女紋』と猿飛佐助

第三回文学ルート川柳

第六回しまなみ海道俳句大会

第一回高校生絵のまち尾道四季展について

感想文

尾道市文化協会会長

入船 裕二 …… 6

吉村 信男 …… 13

三藤 正行 …… 24

入船 裕二 …… 27

清水 金二 …… 32

小西 眸 …… 37

藤井 壯次 …… 39

清水 英子 …… 47

財間 八郎 …… 53

栗本 秋夫 …… 58

今井ひでを …… 60

吉田 繁 …… 65

信来 民夫 …… 71

青木 博 …… 74

池田 明子 …… 79

中村 英子 …… 81

小山 歩 …… 87

浦崎短歌会 …… 91

波動・うずしお短歌会 …… 96

世紀短歌会 …… 105

仲尾 修 …… 115

しまなみ俳句会 …… 116

久井 茂 雉 …… 139

吉野 太郎 …… 140

花本 圭司 …… 142

仲尾 修 …… 144

高垣 憲正 …… 148

木村大刀子 …… 150

山口美沙子 …… 152

入船 裕二 …… 154

島 匠介 …… 157

幡地谷 領 …… 158

黒田 歩兵 …… 164

矢嶋 伊作 …… 169

…… 176

…… 181

…… 187

…… 192

…… 86

…… 52

## 尾道文化

第二十一号 くもくじ

## 巻頭言

§華道・写真・書

## §文化交流

「今治と尾道」を結ぶ文学交流

小説『女紋』と猿飛佐助

第三回文学ルート川柳

第六回しまなみ海道俳句大会

第一回高校生絵のまち尾道四季展について

感想文

尾道市文化協会会長

入船 裕二 …… 6

吉村 信男 …… 13

三藤 正行 …… 24

入船 裕二 …… 27

清水 金二 …… 32

小西 眸 …… 37

藤井 壯次 …… 39

清水 英子 …… 47

財間 八郎 …… 53

栗本 秋夫 …… 58

今井ひでを …… 60

吉田 繁 …… 65

信来 民夫 …… 71

青木 博 …… 74

池田 明子 …… 79

中村 英子 …… 81

小山 歩 …… 87

浦崎短歌会 …… 91

波動・うずしお短歌会 …… 96

世紀短歌会 …… 105

仲尾 修 …… 115

しまなみ俳句会 …… 116

久井 茂 雉 …… 139

吉野 太郎 …… 140

花本 圭司 …… 142

仲尾 修 …… 144

高垣 憲正 …… 148

木村大刀子 …… 150

山口美沙子 …… 152

入船 裕二 …… 154

島 匠介 …… 157

幡地谷 領 …… 158

黒田 歩兵 …… 164

矢嶋 伊作 …… 169

…… 176

…… 181

…… 187

…… 192

…… 86

…… 52

## 尾道文化

第二十一号 くもくじ

## 巻頭言

§華道・写真・書

## §文化交流

「今治と尾道」を結ぶ文学交流

小説『女紋』と猿飛佐助

第三回文学ルート川柳

第六回しまなみ海道俳句大会

第一回高校生絵のまち尾道四季展について

感想文

尾道市文化協会会長

入船 裕二 …… 6

吉村 信男 …… 13

三藤 正行 …… 24

入船 裕二 …… 27

清水 金二 …… 32

小西 眸 …… 37

藤井 壯次 …… 39

清水 英子 …… 47

財間 八郎 …… 53

栗本 秋夫 …… 58

今井ひでを …… 60

吉田 繁 …… 65

信来 民夫 …… 71

青木 博 …… 74

池田 明子 …… 79

中村 英子 …… 81

小山 歩 …… 87

浦崎短歌会 …… 91

波動・うずしお短歌会 …… 96

世紀短歌会 …… 105

仲尾 修 …… 115

しまなみ俳句会 …… 116

久井 茂 雉 …… 139

吉野 太郎 …… 140

花本 圭司 …… 142

仲尾 修 …… 144

高垣 憲正 …… 148

木村大刀子 …… 150

山口美沙子 …… 152

入船 裕二 …… 154

島 匠介 …… 157

幡地谷 領 …… 158

黒田 歩兵 …… 164

矢嶋 伊作 …… 169

…… 176

…… 181

…… 187

…… 192

…… 86

…… 52

## 尾道文化

第二十一号 くもくじ

## 巻頭言

§華道・写真・書

## §文化交流

「今治と尾道」を結ぶ文学交流

小説『女紋』と猿飛佐助

第三回文学ルート川柳

第六回しまなみ海道俳句大会

第一回高校生絵のまち尾道四季展について

感想文

尾道市文化協会会長

入船 裕二 …… 6

吉村 信男 …… 13

三藤 正行 …… 24

入船 裕二 …… 27

清水 金二 …… 32

小西 眸 …… 37

藤井 壯次 …… 39

清水 英子 …… 47

財間 八郎 …… 53

栗本 秋夫 …… 58

今井ひでを …… 60

吉田 繁 …… 65

信来 民夫 …… 71

青木 博 …… 74

池田 明子 …… 79

中村 英子 …… 81

小山 歩 …… 87

浦崎短歌会 …… 91

波動・うずしお短歌会 …… 96

世紀短歌会 …… 105

仲尾 修 …… 115

しまなみ俳句会 …… 116

久井 茂 雉 …… 139

吉野 太郎 …… 140

花本 圭司 …… 142

仲尾 修 …… 144

高垣 憲正 …… 148

木村大刀子 …… 150

山口美沙子 …… 152

入船 裕二 …… 154

島 匠介 …… 157

幡地谷 領 …… 158

黒田 歩兵 …… 164

矢嶋 伊作 …… 169

…… 176

…… 181

…… 187

…… 192

…… 86

…… 52

## 尾道文化

第二十一号 くもくじ

## 巻頭言

§華道・写真・書

## §文化交流

「今治と尾道」を結ぶ文学交流

小説『女紋』と猿飛佐助

第三回文学ルート川柳

第六回しまなみ海道俳句大会

第一回高校生絵のまち尾道四季展について

感想文

尾道市文化協会会長

入船 裕二 …… 6

吉村 信男 …… 13

三藤 正行 …… 24

入船 裕二 …… 27

清水 金二 …… 32

小西 眸 …… 37

藤井 壯次 …… 39

清水 英子 …… 47

財間 八郎 …… 53

栗本 秋夫 …… 58

今井ひでを …… 60

吉田 繁 …… 65

信来 民夫 …… 71

青木 博 …… 74

池田 明子 …… 79

中村 英子 …… 81

小山 歩 …… 87

巻頭言  
S 絵画・工芸・彫刻

尾道市文化協会会長

石田 克彦 ◆◆ 6

鷹羽狩行句碑建立の記

句碑建立委員会事務局長

土屋 年 ◆◆ 11

S 評論

化政期尾道を訪れた文人たち(四) — 平田玉蘊の古鏡見つかる —  
尾道が生んだ巨匠(第五回) 最終回 彫刻家矢形勇  
「サンデー毎日」編集長、辻平一に恋した林芙美子  
読書論の後進性について

入船 裕二 ◆◆ 13  
清水 金二 ◆◆ 18  
清水 英子 ◆◆ 29  
花本 圭司 ◆◆ 34

S 随想

尾道から松江まで — 「中・四国五市文学ルート」の旅 —  
玉蘊展の思い出  
教育の原点を求めろ — 三原附属小時代 —  
忘れ得ぬ人々 Ⅲ 森有正先生  
東方見聞録と涅槃経・本草綱目に見る乳製品  
浦崎の野鳥(鳴・舌・舌・舌・舌の声色)  
本とのつきあい  
エベレスト街道の人  
時空の旅  
木下夕爾の詩そして照海達哉氏の評論を読んで

池野 誠 ◆◆ 39  
池田 明子 ◆◆ 44  
青木 博 ◆◆ 49  
今井ひでを ◆◆ 54  
吉田 繁 ◆◆ 59  
小山 歩 ◆◆ 66  
信来 民夫 ◆◆ 70  
平松 携 ◆◆ 72  
中村 英子 ◆◆ 80  
山川 旭 ◆◆ 86

S 文芸

・ 俳句  
・ 現代詩 分別  
イヌの名前  
旅のかたとの会話  
桃

しまなみ俳句会 ◆◆ 92

藤井 壯次 ◆◆ 117  
久井 茂 ◆◆ 118  
吉野 太郎 ◆◆ 120  
伊尾 修 ◆◆ 124

・ 短歌

走磁性細菌  
月のメール  
帰る  
詩抄  
・ 小説  
逝きし夏 — 海軍将校の教官は兵曹 —  
ほんまにまたもどってきてくれるんじやろうか  
帽子  
塩っぱい話

高垣 憲正 ◆◆ 126  
木村大刀子 ◆◆ 128  
山口美沙子 ◆◆ 132  
西川 修 ◆◆ 136  
波動うず潮短歌会 ◆◆ 140  
『世紀』短歌会 ◆◆ 150  
浦崎短歌会 ◆◆ 158  
仲尾 修 ◆◆ 163  
島 匠介 ◆◆ 164  
幡地谷 領 ◆◆ 170  
黒田 歩兵 ◆◆ 176  
矢嶋 伊作 ◆◆ 183

S 追悼 財間 八郎先生  
弔辞

葬儀委員長

入船 裕二 ◆◆ 188

S 華道・写真・書  
S 文化交流

第四回文学ルート川柳  
第七回しまなみ海道俳句大会

◆◆ 197  
◆◆ 200

S 文学関係著書発刊の記録・寄贈図書を紹介・文化協会会員行事

・ ヘコラム

・ 中表紙写真について  
・ 表紙装画 第一回写真のまち尾道四季展大賞『路地』岡山県 笠岡市  
・ 表紙について  
・ 題字  
・ 装画・カット

入船 裕二 ◆◆ 208  
伊藤 稔 ◆◆ 175  
伊藤 裕二 ◆◆ 177  
藤原 勝子 ◆◆ 199  
伊場 義彦 ◆◆ 199



# 尾道文化

第二十三号

くもくじ

巻頭言

尾道市文化協会会長

石田

克彦◇◇ 6

§華道・写真・書

§評論

私の尾道(その三)

化政期、尾道を訪れた文人たち(五)

メモ帳「ある日・あの時」

尾道古寺めぐりと「神仏習合」管見

江戸後期の天井絵 Ⅱそこから見えたものⅡ

§随想

彫刻界の巨匠 矢形勇さん 膨大な作品群を尾道市に寄贈

「浮雲」とわたくし

百年の怨み

チベットの高山植物 飛燕草と雪蓮

エベレスト街道の人(続) ヒマラヤへ野菜の種

子どもにはしたいことがある Ⅰ「らくがき黒板」の子どもたち

文学の中の尾道(一)

荏苒抄

五十代の手習い

拘農法(一)

§文芸

・短歌

チエーホフ

「世紀」短歌会◇◇ 86

浦崎短歌会◇◇ 94

波動うず潮短歌会◇◇ 99

仲尾 修◇◇ 108

清水 金二◇◇ 38

恒石 直和◇◇ 42

今井ひで◇◇ 48

吉田 繁◇◇ 53

平松 携◇◇ 59

青木 博◇◇ 63

花本 圭司◇◇ 68

久井 茂◇◇ 73

中村 英子◇◇ 76

小山 歩◇◇ 81

◇◇ 7

中村 禮子◇◇ 11

入船 裕二◇◇ 16

藤井 壯次◇◇ 23

山川 旭◇◇ 26

島谷 勲◇◇ 32

・俳句

・現代詩

名字駢蕩

あばよの夏

冬

末枯れ

警策

あの人は

逝きし夏(一) 特攻前夜

ここへの道はなんじゃ思うてかの

老い風

しまなみ俳句会◇◇ 109

雉◇◇ 143

吉野 太郎◇◇ 145

信来 民夫◇◇ 148

仲尾 修◇◇ 150

高垣 憲正◇◇ 152

木村大刀子◇◇ 154

山口美沙子◇◇ 158

島 匠介◇◇ 160

幡地谷 領◇◇ 166

黒田 歩兵◇◇ 172

§日本画・洋画・彫刻・工芸

§文化交流

第五回文学ルート川柳

第八回しまなみ海道俳句大会

◇◇ 186

◇◇ 183

◇◇ 177

§文学関係著書発刊の記録・寄贈図書を紹介・文化協会会員行事

・コラム

・広島文化賞受賞

・中表紙写真について

・表紙装画 第十一回絵のまち尾道四季展銀賞『木枯らしの頃』

広島県 三原市

・表紙について

・題字

・装画・カット

◇◇ 41

◇◇ 21

◇◇ 171

◇◇ 165

◇◇ 22

三次ハヤ子

◇◇ 185

藤原 勝子

石田 克彦



# 尾道文化

第二十四号 くもくじ

巻頭言

尾道市文化協会会長

石田 克彦 ◆◆ 6

§ 日本画・洋画・工芸・彫刻

玉浦絵巻

入船 裕二 ◆◆ 14

§ 評論

玉蘊碑「美人舟遊図」のモデルは？

林芙美子と、考古学者・森本六爾

私の広島

文久元年の柳樽 葉師寺稲荷奉納川柳から

池田 明子 ◆◆ 29

清水 英子 ◆◆ 33

木村大刀子 ◆◆ 38

島谷 勲 ◆◆ 42

§ 随想

人間・林芙美子

青いケシの花とエーデルワイス

エベレストに登った菩薩

子どもにはしたいことがある — 「おじさんありがとう」の子どもたち —

いくさのかげで

文学の中の尾道(二)

アメリカンドリーム

拘農法(二)

ミランクラブ松山代表

奥川 睦 ◆◆ 48

吉田 繁 ◆◆ 53

平松 携 ◆◆ 58

青木 博 ◆◆ 63

池辺ケイコ ◆◆ 68

花本 圭司 ◆◆ 73

中村 英子 ◆◆ 79

小山 歩 ◆◆ 85

§ 文芸

・俳句

句会 瑠璃 ◆◆ 92

しまなみ俳句会 ◆◆ 100

・現代詩

カブトエビ

ミチシルベ

今朝も

告別(こだまくんへ)

峠の名

逝きし夏(三) — 潰えた海軍航空隊

きになってからに

夏めく

高垣 憲正 ◆◆ 129

久井 茂 ◆◆ 132

山口美沙子 ◆◆ 134

仲尾 修 ◆◆ 136

吉野 太郎 ◆◆ 138

島 匠介 ◆◆ 141

幡地谷 領 ◆◆ 147

黒田 歩兵 ◆◆ 152

浦崎短歌会 ◆◆ 157

波動うず潮短歌会 ◆◆ 163

世紀短歌会 ◆◆ 172

§ 華道・写真・書・デザイン

§ 文化交流

第六回文学ルート川柳

第九回しまなみ海道俳句大会

◆◆ 187

◆◆ 190

・コラム

§ 文学関係著書発刊の記録・寄贈図書を紹介・文化協会会員行事

・中表紙写真について

・表紙装画 第二回写真のまち尾道四季展銅賞「西國寺の大ワラジ」広島市

・表紙について 真田 正之 ◆◆ 37

・題字

・装画・カット

◆◆ 189

◆◆ 32

◆◆ 180

◆◆ 91

◆◆ 72

◆◆ 37



# 尾道文化

第二十五号 くもくじ

巻頭言

尾道市文化協会会長 石田 克彦 ◆◆ 6

§華道・書・写真

§評論

蘆花を再起させた今治の温かさ ここは忘れぬ追憶の町  
 蘆花・徳富健次郎  
 林芙美子の香り立つ晩年の恋  
 文久元年の柳樽(二) — 葉師堂稲荷社川柳大会から —

今治史談会会長

村上 正郎 ◆◆ 13  
 清水 英子 ◆◆ 16  
 島谷 勲 ◆◆ 21

§随想

日露戦争秘話と反戦詩歌  
 はがき通信「尾道だより」(抄)  
 蘭草づくりと備後表 — 浦崎の軌跡が語るのは —  
 黄色のアツモリソウと橙色のサクラソウ  
 内蒙古出身のトリゴル君  
 もう一つの教育ドキュメント  
 作家・吉村昭氏のこと  
 もうひとつのミステリー  
 拘農法(三)  
 瀬戸田に於ける俳諧活動の幕明け

§文芸

・現代詩 砂  
 風の手  
 絶句  
 その耳に  
 量感なき種子

花本 圭司 ◆◆ 77  
 木村大刀子 ◆◆ 82  
 久井 茂 ◆◆ 84  
 山口美沙子 ◆◆ 86  
 仲尾 修 ◆◆ 88

・短歌

10月9日体育の日、世界郵便デーの朝  
 ニハイチュウ

吉野 太郎 ◆◆ 90  
 高垣 憲正 ◆◆ 92  
 仲尾 修 ◆◆ 95  
 波動うず潮短歌会 ◆◆ 96  
 世紀短歌会 ◆◆ 105  
 浦崎短歌会 ◆◆ 112  
 瀬戸田俳句会 ◆◆ 117  
 因島俳句研究会 ◆◆ 128  
 句会 瑠璃 ◆◆ 134  
 しまなみ俳句会 ◆◆ 140

・小説 わらべがえり  
 運動会  
 海兵団

幡地谷 領 ◆◆ 166  
 黒田 歩兵 ◆◆ 174  
 島 匠介 ◆◆ 180

§日本画・洋画・工芸・彫刻

§文化交流  
 第七回文学ルート川柳

◆◆ 187  
 ◆◆ 191

§文学関係著書発刊の記録・寄贈図書を紹介・文化協会会員行事

・ヘコラム

◆◆ 186  
 ◆◆ 62

・中表紙写真について  
 ・表紙装画 第十二回絵のまち尾道四季展銀賞『芙美子図』茨城県 磯山 秀夫  
 ・表紙について  
 ・題字  
 ・装画・カット

藤原 勝子 ◆◆ 195  
 石田 克彦 ◆◆ 15

